





写真2 本田實氏（左）と倉敷天文台の創設者原澄治（右）

本田氏のお住まいだった場所を改装したブックカフェ「星の光の澄みわたり」のネーミングは、本田氏の詩の一節を引用しました。ここでは、創設時の芳名録や貴重な天文に関する様々な本や資料、例えば創設時より收藏されていた書物なども手にとることができます（写真3）。本田氏直筆の詩などが展示されている空間では、天文に関心がない人たちも思い思いにくつろぎ、自然と、倉敷天文台の存在を感じとっていただいているようです。時には、ふと書棚から取り出した古い本を開くと、本田氏のメモを“発見”することもあります。またカフェで利用している本田氏が愛用していた文机の裏にも本田氏の貴重な走り書きが……。

2026年に100周年を迎える私たち倉敷天文台は、歴史や関連遺産を継承するための取り組みの一つとして、所蔵品の背景を深掘りするなどの探



写真3 カフェ「星の光のすみわたり」の外観（上）と多くの書物が置かれた店内の様子（下）。

求活動を行っています。そして【宇宙への扉】を民間に開いた最初の天文台として、新たな価値の創造を目指し励んでいる道の途中です。今後も、公益財団法人倉敷天文台を温かく見守っていただけますと幸いです。